

四半期報告書

(第37期第1四半期)

自 平成20年4月1日

至 平成20年6月30日

曾田香料株式会社

東京都中央区日本橋本町四丁目15番9号

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2
3 関係会社の状況	2
4 従業員の状況	2

第2 事業の状況

1 生産、受注及び販売の状況	3
2 経営上の重要な契約等	4
3 財政状態及び経営成績の分析	5

第3 設備の状況

第4 提出会社の状況

1 株式等の状況	
(1) 株式の総数等	6
(2) 新株予約権等の状況	6
(3) ライツプランの内容	6
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	6
(5) 大株主の状況	6
(6) 議決権の状況	7
2 株価の推移	7
3 役員の状況	7

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
2 その他	16

第二部 提出会社の保証会社等の情報

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成20年8月8日
【四半期会計期間】	第37期第1四半期（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）
【会社名】	曾田香料株式会社
【英訳名】	Soda Aromatic Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中地 俊朗
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋本町四丁目15番9号 （同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記で行って おります。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋小伝馬町2番3号(本社事務所)
【電話番号】	03（5645）7340
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理部門長 中島 直文
【縦覧に供する場所】	株式会社ジャスダック証券取引所 （東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第37期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第36期
会計期間	自平成20年4月1日 至平成20年6月30日	自平成19年4月1日 至平成20年3月31日
売上高(千円)	5,062,997	18,709,854
経常利益(千円)	743,626	2,419,779
四半期(当期)純利益(千円)	446,499	1,497,749
純資産額(千円)	10,951,123	10,642,021
総資産額(千円)	18,358,370	18,153,741
1株当たり純資産額(円)	1,095.41	1,064.49
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	44.66	149.82
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	—	—
自己資本比率(%)	59.7	58.6
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	417,574	1,994,798
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	△197,077	△514,486
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	△599,980	△919,644
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	2,570,660	2,949,677
従業員数(人)	359	343

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3【関係会社の状況】

当第1四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成20年6月30日現在

従業員数（人）	359（40）
---------	---------

(注) 従業員数は就業人員（当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、嘱託契約、顧問契約の従業員を含み、派遣社員を除く。）は、当第1四半期連結会計期間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成20年6月30日現在

従業員数（人）	297
---------	-----

(注) 従業員数は就業人員（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、嘱託契約、顧問契約の従業員を含み、派遣社員を除く。）は、含まれておりません。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第1四半期連結会計期間における生産実績を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

事業の部門別	当第1四半期連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
フレグランス (千円)	514,901
フレーバー (千円)	1,601,009
合成香料・ケミカル (千円)	2,013,109
合計 (千円)	4,129,020

- (注) 1. 金額は販売価格で表示しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 商品仕入実績

当第1四半期連結会計期間における商品仕入実績を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

事業の部門別	当第1四半期連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
フレグランス (千円)	92,255
フレーバー (千円)	513,000
合成香料・ケミカル (千円)	354,082
合計 (千円)	959,339

- (注) 1. 金額は仕入価格で表示しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注状況

当第1四半期連結会計期間における受注状況を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

事業の部門別	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
製品		
フレグランス	388,157	35,994
フレーバー	1,425,353	206,305
合成香料・ケミカル	2,046,508	220,651
小計	3,860,019	462,950
商品		
フレグランス	77,736	10,893
フレーバー	606,885	110,980
合成香料・ケミカル	358,883	75,075
小計	1,043,505	196,949
合計	4,903,525	659,900

- (注) 金額は販売価格で表示しております。

(4) 販売実績

当第1四半期連結会計期間における販売実績を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

事業の部門別	当第1四半期連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
製品	
フレグランス (千円)	427,741
フレーバー (千円)	1,454,540
合成香料・ケミカル (千円)	2,118,854
小計 (千円)	4,001,135
商品	
フレグランス (千円)	79,853
フレーバー (千円)	599,870
合成香料・ケミカル (千円)	381,514
小計 (千円)	1,061,239
その他 (千円)	622
合計 (千円)	5,062,997

(注) 1. 当第1四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	当第1四半期連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)
D I C株式会社	817,210	16.1

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、原油をはじめとする原材料価格の高騰を背景に物価が上昇基調を強めており、個人消費の伸び悩みが見られるなど、景気の減速感が強まるなか、先行きに対する不透明感が一層増してきております。

香料業界におきましても、国内市場の売上は伸び悩んでおり、販売競争が激化するなかで原燃料価格の上昇も加わり、厳しい環境が続きました。

このような状況下、当社グループはフレグランス、フレーバー、合成香料・ケミカルの3事業部門ごとに持続的な収益拡大に努め、生産・販売・研究・開発が一体となって、製品開発における顧客ニーズへの対応力を強化し、自社製品の売上高増加に注力いたしました。そして、生産性の向上や総費用の見直しなどの各種施策にも積極的に取り組み、事業収益の向上と経営の効率化に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高のうち自社製品につきましては、フレグランス、フレーバーが好調に推移し、合成香料・ケミカルも大幅に拡大したことから、4,001百万円となりました。仕入れ商品も含めた全体の売上高は、5,062百万円となりました。

利益につきましては、自社製品の拡販を積極的に進めたことや、原燃料価格が上昇する中で製造原価低減、経費の抑制に努めたことから収益性が向上し、営業利益は738百万円、経常利益は743百万円、四半期純利益も446百万円となりました。

部門別売上高につきましては、フレグランス部門は、主力のシャンプー・リンス等の頭髪用化粧品香料は安定的に推移し、消臭・芳香剤用香料も伸長したことから、全体では507百万円となりました。フレーバー部門は、コーヒー、健康飲料等の飲料用香料が拡大し、自社製品売上は1,454百万円となりました。一方で仕入れ商品が減少したことから、全体では2,054百万円となりました。合成香料・ケミカル部門のうち合成香料は海外向けを中心に続伸し、ケミカル製品も電子材料が拡大したことから、部門全体の売上高は2,500百万円となりました。

(注記) 当社グループは、単一セグメントに属する香料等の製造・販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、事業の種類別セグメント情報はありません。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ379百万円減少し、2,570百万円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間におけるフリー・キャッシュ・フローは220百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は417百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が741百万円、減価償却費が158百万円となり、また売上高の増加により売上債権が450百万円の増加、仕入債務が459百万円の増加となったこと及び法人税等の支払額が586百万円となったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は197百万円となりました。これは主に、ケミカル製造設備等の有形固定資産の取得による支出183百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は599百万円となりました。これは、短期借入金の返済500百万円と配当金の支払い99百万円によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、246百万円であります。

なお、当第1四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第1四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度末に計画した重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	34,400,000
計	34,400,000

②【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成20年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成20年8月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,000,000	10,000,000	ジャスダック証券取引所	—
計	10,000,000	10,000,000	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成20年4月1日～ 平成20年6月30日	—	10,000	—	1,490,000	—	1,456,855

(5)【大株主の状況】

当第1四半期会計期間において、タワー投資顧問株式会社から平成20年5月21日付の大量保有報告書の写しの送付があり、平成20年5月15日現在で502千株を保有している旨の報告を受けておりますが、株主名簿の記載内容が確認できないため、当社として実質所有株式数の確認ができません。

なお、タワー投資顧問株式会社的大量保有報告書の写しの内容は以下のとおりであります。

大量保有者	タワー投資顧問株式会社
住所	東京都港区芝大門1丁目12番16号 住友芝大門ビル2号館2階
保有株券等の数	株式 502,000株
株券等保有割合	5.02%

上記以外の大株主の異動は把握しておりません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成20年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

①【発行済株式】

平成20年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 2,000	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 9,994,000	9,994	—
単元未満株式	普通株式 4,000	—	—
発行済株式総数	10,000,000	—	—
総株主の議決権	—	9,994	—

②【自己株式等】

平成20年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
曾田香料株式会社	東京都中央区日本橋本町四丁目15番9号	2,000	—	2,000	0.02
計	—	2,000	—	2,000	0.02

2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年4月	5月	6月
最高（円）	900	1,035	1,055
最低（円）	870	860	1,016

（注） 最高・最低株価は、ジャスダック証券取引所におけるものであります。

3【役員】の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

第5【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、新日本監査法人は、監査法人の種類の変更により、平成20年7月1日をもって新日本有限責任監査法人になりました。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る要約 連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,570,660	2,949,677
受取手形及び売掛金	4,143,420	3,692,891
商品	44,814	47,383
製品	1,556,905	1,622,777
原材料	1,195,545	1,147,773
仕掛品	1,924,138	1,654,274
その他	408,049	450,215
貸倒引当金	△6,141	△5,560
流動資産合計	11,837,392	11,559,433
固定資産		
有形固定資産	※1 4,816,092	※1 4,865,977
無形固定資産	43,501	38,756
投資その他の資産	1,661,384	1,689,573
固定資産合計	6,520,978	6,594,308
資産合計	18,358,370	18,153,741
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,522,673	2,063,632
短期借入金	1,000,000	1,500,000
未払法人税等	299,359	611,700
賞与引当金	667,678	453,892
役員賞与引当金	3,800	14,216
その他	840,653	814,602
流動負債合計	5,334,165	5,458,043
固定負債		
長期借入金	100,000	100,000
退職給付引当金	1,837,132	1,830,197
役員退職慰労引当金	129,500	122,030
その他	6,448	1,448
固定負債合計	2,073,081	2,053,676
負債合計	7,407,246	7,511,720

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る要約 連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,490,000	1,490,000
資本剰余金	1,456,855	1,456,855
利益剰余金	7,898,227	7,551,700
自己株式	△1,523	△1,523
株主資本合計	10,843,558	10,497,032
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	156,537	155,224
繰延ヘッジ損益	1,725	29,975
為替換算調整勘定	△50,698	△40,210
評価・換算差額等合計	107,565	144,989
純資産合計	10,951,123	10,642,021
負債純資産合計	18,358,370	18,153,741

(2) 【四半期連結損益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	5,062,997
売上原価	3,347,093
売上総利益	1,715,904
販売費及び一般管理費	※ 977,621
営業利益	738,282
営業外収益	
受取利息	2,775
受取配当金	5,824
持分法による投資利益	1,901
その他	2,732
営業外収益合計	13,233
営業外費用	
支払利息	3,768
債権売却損	2,568
その他	1,552
営業外費用合計	7,889
経常利益	743,626
特別損失	
固定資産除却損	1,908
特別損失合計	1,908
税金等調整前四半期純利益	741,718
法人税等	295,219
四半期純利益	446,499

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	741,718
減価償却費	158,330
固定資産除却損	887
持分法による投資損益(△は益)	△1,901
貸倒引当金の増減額(△は減少)	581
賞与引当金の増減額(△は減少)	213,786
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,415
退職給付引当金の増減額(△は減少)	14,404
受取利息及び受取配当金	△8,599
支払利息	3,768
売上債権の増減額(△は増加)	△450,528
たな卸資産の増減額(△は増加)	△246,558
仕入債務の増減額(△は減少)	459,041
その他	108,871
小計	983,386
利息及び配当金の受取額	24,066
利息の支払額	△3,768
法人税等の支払額	△586,109
営業活動によるキャッシュ・フロー	417,574
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△2,465
有形固定資産の取得による支出	△183,141
無形固定資産の取得による支出	△12,374
その他	903
投資活動によるキャッシュ・フロー	△197,077
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△500,000
配当金の支払額	△99,980
財務活動によるキャッシュ・フロー	△599,980
現金及び現金同等物に係る換算差額	466
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△379,016
現金及び現金同等物の期首残高	2,949,677
現金及び現金同等物の四半期末残高	* 2,570,660

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	<p>当第1四半期連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)</p>
<p>会計処理基準に関する事項 の変更</p>	<p>重要な資産の評価基準及び評価方法 の変更 たな卸資産 通常の販売目的で保有するたな卸資産 については、従来、主として総平均 法による原価法によっておりました が、当第1四半期連結会計期間より 「棚卸資産の評価に関する会計基準」 (企業会計基準第9号 平成18年7月 5日)が適用されたことに伴い、主と して総平均法による原価法(貸借対照 表価額については収益性の低下に基づ く簿価切下げの方法)により算定して おります。 これにより、営業利益、経常利益及 び税金等調整前四半期純利益は、それ ぞれ11,328千円減少しております。</p>

【簡便な会計処理】

	<p>当第1四半期連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)</p>
<p>1. 固定資産の減価償却費の 算定方法</p>	<p>定率法を採用している資産については、 連結会計年度に係る減価償却費の額を期間 按分して算定する方法によっております。</p>
<p>2. 繰延税金資産及び繰延税 金負債の算定方法</p>	<p>繰延税金資産の回収可能性の判断に関し ては、前連結会計年度末以降に経営環境 等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい 変化がないと認められるので、前連結会計 年度において使用した将来の業績予想やタ ックス・プランニングを利用する方法によ っております。</p>

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	<p>当第1四半期連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)</p>
<p>税金費用の計算</p>	<p>税金費用については、当第1四半期連 結会計期間を含む連結会計年度の税引前 当期純利益に対する税効果会計適用後の 実効税率を合理的に見積り、税引前四半 期純利益に当該見積実効税率を乗じて計 算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等に 含めて表示しております。</p>

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
※1 有形固定資産の減価償却累計額は、11,133,630千円であります。	※1 有形固定資産の減価償却累計額は、11,004,287千円であります。
2. 偶発債務 債権流動化に伴う買戻義務額 100,113千円	2. 偶発債務 債権流動化に伴う買戻義務額 130,300千円

(四半期連結損益計算書関係)

当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	
※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
給料及び手当	290,959千円
賞与引当金繰入額	133,398
役員賞与引当金繰入額	3,800
退職給付費用	52,813
役員退職慰労引当金繰入額	7,469

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年6月30日現在) (千円)	
現金及び預金勘定	2,570,660
現金及び現金同等物	2,570,660

(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成20年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数
普通株式 10,000千株
2. 自己株式の種類及び株式数
普通株式 2千株
3. 新株予約権等に関する事項
該当事項はありません。
4. 配当に関する事項
(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年6月25日 定時株主総会	普通株式	99,972	10	平成20年3月31日	平成20年6月26日	利益剰余金

- (2) 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

当社グループは単一セグメントに属する香料等の製造・販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	アジア	欧州	北米	その他	計
I 海外売上高（千円）	580,498	543,147	190,689	61,339	1,375,674
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	5,062,997
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	11.5	10.7	3.8	1.2	27.2

(注) 1. 地域は地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の主な内訳は次のとおりであります。

- (1) アジア…中国、韓国、台湾
- (2) 欧州……スイス、英国、フランス
- (3) 北米……米国
- (4) その他…南米、オセアニア

3. 海外売上高は当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(有価証券関係)

当第1四半期連結会計期間末（平成20年6月30日）

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第1四半期連結会計期間末（平成20年6月30日）

当社グループの利用しているデリバティブ取引にはヘッジ会計が適用されているため、該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

当第1四半期連結会計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)		前連結会計年度末 (平成20年3月31日)	
1株当たり純資産額	1,095円41銭	1株当たり純資産額	1,064円49銭

2. 1株当たり四半期純利益金額等

当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	
1株当たり四半期純利益金額	44円66銭
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
四半期純利益(千円)	446,499
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	446,499
期中平均株式数(千株)	9,997

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

所有権移転外ファイナンス・リース取引について通常の賃貸借取引に係る方法に準じて処理を行っておりますが、当四半期連結会計期間におけるリース取引残高は前連結会計年度末に比べて著しい変動が認められないため、記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年8月4日

曾田香料株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 原 一浩 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山口 光信 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている曾田香料株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、曾田香料株式会社及び連結子会社の平成20年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。